



厳原港厳原地区離島ターミナル整備事業

国境離島の生活と経済を支える

現在 now

将来 future

インフラ

新設した物流エリアへ物流機能を集約(H22)

物流機能が移転したものの、現在も老朽化したターミナルは狭く、利便性も低い状況

フェリー・高速船の岸壁を整備
人流・物流機能の拡充

将来 future

フェリー・高速船の岸壁整備(-5.5m, -7.0m)

(完成イメージ)

平成30年代前半完成予定

地域

狭い駐車場で観光バスと一般車が混在

駐車場不足の解消
ターミナル機能強化

乗降客の安全性・利便性向上
観光客の増加

ターミナルの完成イメージ(概ね2倍に拡張)

離島の活性化

- 平成23年、^{いづはら}厳原港～釜山港航路に高速船運航会社が新規参入し、**韓国人観光客が急増**。既存岸壁を活用し、クルーズ船も受入れ開始
(H27年厳原港外国人入国者数 78,542人(過去最高))
- 乗降客の**安全性・利便性向上等**のため、人流・物流機能を分離しながら、ターミナル機能を強化・最適化
また、官民連携による産業振興や担い手確保プロジェクトを実施中
- 平成29年春、港の背後に**ホテルがオープン予定(新規雇用約50人)**など、**厳原港が国境離島の生活と経済を支える**

